

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、地域生活の継続支援と事業所と地域の関係性強化を謳った理念を作り上げている・3つの理念を掲げサービス向上に向け職員一丸で頑張っている・月例会などで報告し話し合い検討したりサービス向上に向け努力している</p>	<p>・事業者も含め、出入りする人は全て理念を守り努力を続けたい</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・目配り、気配り、感謝の心(理念)・毎朝の朝礼を行い連絡等密にし落ち度の無いよう各自気をつけている</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>・町内会の会合、地域の集まりやイベントの参加の他折に触れて事業所の実践を伝えるようにしている・月1家族へ便りを作成し利用者一人ひとりの近況をお知らせと前月の行事、当月の行事予定等知らせし互いに家族の方ともコミュニケーションをスムーズにとれるように生活感覚、信頼関係を工夫している</p>	<p>・家族の方が面会に見えた時、居室へお茶、菓子を一緒に食べられよい雰囲気でご過ごされている</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・遊学時間を利用し近所への散歩などし近隣の方にお会いしたときは自らすすんで挨拶する。また、近くの保育園などの催しなど参加させてもらっている</p>	<p>○</p> <p>・散歩は日光浴にもなるのでドライブ等もより着実に決行できるように支援していく</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・近くの幼稚園、老人会、花見等から地域のお祭り、盆踊り等利用者も含め参加し、近隣の中学校から福祉体験学習やボランティアの受入れなどし交流している</p>	<p>・レクリエーション時に地元の方々と言葉を交わしたり心通わせたい</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・地域の催し物等に訪ねることで事業所を認知してもらい参加で啓発をはかっている。人材育成の為の実習生受入れもしており相互の理解に繋がっている	○	・ホームでの催し時に招待するような機会を設けたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・運営者、管理者が前年度評価を受けるまでの経過、受け手からの報告を会議の場で説明し、全職員が協力し合う必要性を伝えてきている。改善計画を作成し、すぐ取り組めるもの、長年掛けて改善に取り組むものを分けて少しずつ状況改善に努めている	○	・常に点検見直し、話し合い、実践の流れを崩さないようにしたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・事業所の取り組み内容、改善等会議の場で報告、説明し、参加メンバーから意見、評価、質問等される事を真摯に受け止めケアに取り組めるようにしている	○	・会議の結果で改めなければならない点はすぐ改め、入居者様のサービスに活かしたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・市から要請のある介護相談員派遣の受入れを行いサービス内容を知ってもらい、利用者との交流を図る。なお、包括支援センター等で利用できるサービスの情報を入手し利用者家族へ提供し皆が協力し事業所の認知を深めている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・今のところ実施に至っていない	○	・学ぶ機会を作っていく
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・職員会議等で虐待防止法等冠する勉強をしホーム内で虐待が無いよう、また見過ごされないよう注意を払っている・特に言葉の暴力が無いか気をつけている	○	・高齢者虐待防止関連法についてより情報を得、常に共有したい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約時は相手の立場に立って判りやすいよう丁寧に事業所のケアの方針、取り組みを重要事項説明書に沿った説明を行い、不安、疑問点において必ず答えるようにし理解をもらえるよう時間を掛けて行っている</p>	<p>・家族の方との連絡帳で情報要求等、注意深く取り組んでいる</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・利用者に対して意見箱を設置し口で言えない不満、苦情を入れてもらい参考にし改善し反映しており、介護相談員の訪問を受け入れ外部と話す機会を設け運営の参考にしている</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>・定期的に毎月1回家族への便りを発行し報告を行っている。また、家族訪問時は暮らしぶり、エピソードを写真や作品等を通して細かく情報を与え金銭出納帳を確認してもらい都度サインをもらうなど意思疎通を図っている</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・手紙や訪問時、なんでも言ってもらえるような雰囲気作りはしているものの家族からの要望が上まで上がらず、伝達が滞っているなど事例があった為、利用者の各部屋にノートを設置し家族からの意見・苦情などを書いていただいている</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・毎月職員会議を設け、管理者からの指示、職員からの意見、要望等を聞き参考にしており、管理者が主に職員の要望、意見を聞くよう心がけてはいるが不満等は言い難い部分も多いので把握し切れていない可能性はある</p>	<p>○</p> <p>・職員会議で意見や質問等解決しているとは思いますが、より注意深く職員の動きを確認しながら声掛けをしていくことを心に留める</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・利用者の方、家族の方とは快く対応できるよう努めている</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・馴染みの職員が変わったり離職することは利用者にとって大きなダメージを与える可能性があり、家族の方との信頼関係も失うことになりかねない為、引継ぎを入念に行い自己紹介等を含めしっかりケアに重視する</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		<p>・研修に参加したいという声がたくさん挙がってくるような積極性が出てくるよう心の通い合いを大切に常日頃から話し合いをしている</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	<p>・他施設との人事交流をはじめ、行事などでもお互いが参加できるようなものにつなげていきたい</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	○	<p>・入居者の気持ち(話)を聞いてさしあげることが大切なのでコミュニケーションを作りよく聞けるよう対話の時間を常に割けるよう工夫していきたい</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	○	<p>・入浴時等、今思っている不安、嬉しかったこと等聞いて挙げられるよう取り組んでいきたい</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービ ス利用も含めた対応に努めている	・相談を受けたときは本人家族の方を含め対応に努めてい る	○	・利用者の方の相談は前向きに取り組んでいきたい・本人 が困っている事不安なこと求めていること等を本人自身か らよく聞く機会を作り受け止める努力をしている
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用 するために、サービスをいきなり開始するの ではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気 に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工 夫している	・1度ホームのほうに見学に来ていただいたりする。ホームの 雰囲気等見ていただいた上で家族や本人様が納得なさった 上、相談に乗る・常に一人ぼっちにならないよう話かけ皆の 輪に誘っている		・本人や家族が事業所を見学してもらうことからはじめ職員 が自宅に向いたり遊びに来てもらったりすることを繰り返 しながら事業所での生活を安定させる
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共に し、本人から学んだり、支えあう関係を築いて いる	・慣れ親しんだ生活に近い生活をしていただくよう本人様の 性格など見ながら支えたり支えられたりしている	○	・今まで生きていらした先輩としての人格を尊重し一日の 生活を共感できるケアに努めたい
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支え ていく関係を築いている	・ノートで意見交換をしている・家族の方には元気なときのお 話等聞き何が得意か趣味などはどうだったのか聞いて一緒 に職員も家族のつもりで接している		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努 め、より良い関係が築いていけるように支援し ている	・家族本人の思いや状況を見極めながら外出や外泊で家族 と一緒に過ごすことを勧めたり行事に家族を誘ったりしなが らより良い関係の継続に努めている・よく面会に見える方は現 状等分るが忙しくてこれない方々にはたよりを利用し利用者 の近況、現状等知らせている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	・家族がこられる方には現状がわかるようにしてあり、色々 な機会に話をし相手をよく知り、行きたい場所等をいける範 囲でお連れし利用者の友人が曾比に来たり気軽に電話で話を されたりしている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤 立せず利用者同士が関わり合い、支え合 えるように努めている	・ホームの利用者の方々と楽しく生活できるよう職員が気を つけ優しく見守りながら支援する、尚困っている方がいるとき も手を差し伸べられるよう勉強する・気の合うもの同士で過 ごせる雰囲気や場作りに配慮したり心身の状態や気分、感情 の変化に注意深く見守るようにしている	○	・利用者同士の関係がうまくいくように職員が調整役となっ て支援している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・契約終了時(長期入院の為)後も、馴染みだったものを持ち話し相手として遊びに行ったり家族の相談に乗ったりしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・本人にとってどこで誰とどのように暮らすことが最良なのかを家族を交えて検討している・なるべく本人の希望を取り入れるようにしている・人として一人の人間として安心、安全を確保しより良いホーム生活が出来るよう家族、医師、ホーム側との連携を取りながらチームで支援している	○	・日々のかかわりの中で声をかけ把握に努めている。言葉や表情などからその真意を推し量ったりそれとなく確認するようにしている
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人自身の語りや家族知人等の訪問時など少しずつ把握に努めている・他の事業所などからいらっしゃる方のアセスメント、ケアプラン、支援状況等を聞き環境や暮らし方等に配慮してすみよい生活空間を作るよう努めている、又、家族から話など聞きその方の生活スタイルを崩さず生活できるよう心がけている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・利用者一人ひとりの生活リズムを理解するとともに行動や小さな動作から感じ取り全体像を把握している・利用者の一日の過ごし方、体調など把握し職員一丸となり支援していく心がけている・無理な押し付けはせず心身状態に合わせ一日の過ごし方は本人が過ごされるままにし見守りをしている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・利用者とのケア記録で家族と意見等反映し作成に努力している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・本人、家族、必要な関係者と話し合い介護計画を作成していきたい		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・一人ひとりのケア日誌を作成し一目で分かるよう毎日記入し職員同士連携し利用者の現状を把握する様、心がけている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・入居者各人に合わせて医療機関の受診、通院等の支援や買い物、催し物への外出、諸々の用事に対応するよう努力している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・周辺施設だけでなく地域の住民へボランティアの協力依頼をしたり、民生委員に運営推進会議委員になっていただくなど、各種方面の視野で助言していただけるようしている	○	・ボランティア(学生)さんを募集に取り組んで欲しい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・お達者クラブでの体操を始め、入所者の希望に応じてボランティアの受入れや訪問理美容を利用するなど様々な面で保険外の内容も充実できるよう行っている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・運営推進会議に包括支援センターから所長が委員として参加して下さって以降、情報交換のつながりが強化された。また、介護保険に関する相談を受けたり必要性に応じたアドバイス等行っている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ホームの協力医、利用者の希望医で医療を受けられる様家族と話し合いが出来ている。通院は家族がなされるか不可能な場合は職員が同行するようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・専門医とのかかわりは無い	○	・職員が認知症のことを深く知る機会を設けたい
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・ケアマネのもと24時間気軽に相談することが出来る	○	・病院に連絡し日頃の健康管理や医療面での相談、助言、対応を行っている
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院の目的を早く達成してもらえるように話し合いなるべく混乱が少ないようにしている	○	・入院によるダメージを極力防ぐために医師と話をする機械を持ち事業所内での対応可能な段階でなるべく早く退院できるようにアプローチする
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・家族の希望で自然体に努めている・ホームとしてどうやっていくかの方針がハッキリと決まっていないので検討中である	○	・重度化に伴う意志確認書を作成し事業所が対応しえる最大のケアについて説明を行う・ホームにおいてどこまで出来るかを検討したうえで方針を決定していきたい
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・チームの連携、職員の力量、諸条件等を備え他の利用者への影響も踏まえて対応する	○	・重度化の変化に備えて検討する必要がある
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・暮らしのケアの継続が出来るよう移行先へ事業所で培ったケアのノウハウ、個別情報の伝達等プライバシーに配慮しつつ行っている	○	・新しい住まいでもこれまでの暮らしの継続性が損なわれないようにこれまでの生活環境、支援の内容、注意が必要

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・利用者に対して言葉遣い、態度接し方等気をつけて一人の人として傷つけないようにしている。利用者同士のプライバシーを気をつける・人前ではあからさまな介護は控え居室への誘導の声かけをし本人を傷つけないようにしている・オムツ交換時は居室の戸は閉めている	○ ・勉強会やミーティングの折に職員の意識向上を図ると共に日々の関わり方をリーダーが点検し利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図る
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	・利用者の方々の希望を少しでも叶えてあげられるよう一人ひとりの生活等を見ながら支援している	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・買い物や散歩等一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している・基本的な一日の流れはあるが一人ひとりの体調に配慮しその時の本人の気持ちを尊重し個別性のある支援をしている	○ ・まだ職員側の決まりや都合が優先するところもあるので利用者様のペースを見ながらその日の生活等支援していくよう心がけたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・自分で出来る方は自らすすんで着替えをなさり、美容院等は外から来てくださるので利用される・朝の着替えは本人の意向で行っており必要など必要な方には職員が手伝いながらの更衣をし、誕生会、行事、お出掛けの際は化粧やおしゃれをしている	○ ・利用者の方が生活にメリハリをつけるためにも声かけ、支援を努めたい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・利用者の方々は食事が何より楽しみと言われるので作り手の職員も毎日同じにならないようメニューを作りみそ汁の具なども記入するようにしている、又お手伝いくださる方には声掛けしお願いしている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・おやつ等は病気など無い方は家族の差し入れ等10時、3時のお茶の時間に出している、又甘いものなど沢山食べられない方には手作りで甘さ控えめのお菓子など作って差し上げている・利用者の方が望む牛乳、紅茶、珈琲等状況に合わせてあげている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄チェック表を使用し尿意の無い利用者にも時間を見計らって誘導することによりトイレで排泄できるよう支援している・昼間は自分でトイレに行かれる方も夜はパット等使用され、下着汚染の場合は洗って差し上げ又、オムツの方も時間をみながら確認する。オムツの方でもトイレに行かれる方は介助等する		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴した日、希望する時間に入浴していただいている。また服を脱ぐことを嫌がる利用者には職員も一緒に入り安心感を持ってもらう工夫をしている・清潔安全に入浴し、全身の血行を良くする		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・利用者の方の生活習慣やその方の休息など見ながら声掛け等安心できるよう支援している・なるべく日中の行動を促し快眠できるよう支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・得意分野で一人の力を発揮してもらえよう願うことができろんな仕事を頼み感謝の言葉を伝えるようにしている・毎日遊学時間等設け利用者一人ひとりにあわせ違う行事など予定している・休日はお菓子作り、習字、ドライブなど気晴らしになるよう支援している・食事作りの下準備や遊学時のおやつ作りなど出来る範囲内で職員と一緒にいき気晴らしの支援をしている	○	・皆様と料理したり希望があれば買い物、ドライブなど実施している
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・利用者の方で自分で管理できる方は自分で持っていったり買い物なども職員がついていけるようしている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・天気の良い日は散歩、買い物に行かれている	○	・一人ひとりの希望に沿って戸外等外出は出来ないがなるべくホームだけでなく楽しみを持っていただくよう外にお連れする心がけをしている
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・花見等催しなどの時に家族の方に知らせ皆で楽しんでいただけるよう企画している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・利用者の方の希望があれば電話はいつでも使用でき手紙等も差し出すことができる(年賀状、暑中見舞い等利用者の方が作るよう支援している)・携帯電話や事務所から自由にかけけている	○	・遊学の時間に手紙などを書き、書けない方には代筆し家族との絆を強める支援をしている
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・家族の方又は友人、知り合いの方が見えても気兼ねなく話ができるよう心がけている・訪問時間は定めておらず家族の都合のいい時間にいつでも訪ねてきていただけるよう配慮を心がけている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束については会議等で勉強をし拘束の無いよう気をつけ点検など行っている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・利用者の方がいつでも中庭等に出て散歩されたり出来るよう心がけ支援している・鍵をかける事はないように職員が正しく理解に取り組んでいる・外に出たい様子を察知したらさりげなく声掛けし一緒にいていき安全面に配慮し自由な暮らしを支えるようにしている		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・職員は利用者と同じ空間で記等の事務作業を行いながらさりげなく全員の状況を把握するよう努めている・一人ひとりの行動を把握し記録等のときも利用者の見えるところでやっている・居室で過ごされる方へ数時間毎に様子の確認を行っている		・そのときの状況によっては、注意が向いていないこともある為、職員一人ひとりが常に入居者の動きを頭に入れてながら行動する
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・利用者の方々の状況等身ながら対応し利用者が使用する時注意の必要なときは職員が付き支援している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・利用者一人ひとりの状況に応じて検討し職員が連携し事故等未然に防げるよう協力して努力している・誤嚥等には細かく刻んだり見守りを行っている		・事故防止の為の講習会等知識を学びたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・夜間勤務のときなど連絡方法等はある、医者による緊急時医療講習会は年に1度行われている		・事故等あった時の訓練は急には覚えられないので定期的に行っていきたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・災害時の避難が出来るように利用者がスムーズに出来るような方法を身につけている。消防署の訓練(消火器の使い方、避難経路の確認、避難の仕方)や地域の方々との協力を運営推進会議や町内会への回覧板で呼びかけている。		・働くチームワークを強化しどのように動くかを確認しいつも互いが話せる場を作っていきたい
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・入居者本人の希望、家族の希望を聞き、それを支援していく上で体力の低下、低栄養、転倒骨折、様々な事例を話なるべく健康で元気に過ごして暮らしやすい生活を営むための話し合いを行っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・利用者の体調特病等普段より把握している。食欲顔色様子等変化があればバイタルチェック等行い職員間で共有し対応する・本人の状態変化が見られるときはいつもよりも詳細な記録をとり協力医療機関との連携を図っている	○	・少しでも変わったことがあればそのままにせず職員同士責任者に報告することを徹底する
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬ファイルは作成し、職員が把握できるように用法や用量を確認できるようにしているが、なかなか一人ひとりが使用している薬の目的、副作用までの全員の理解はされていない。	○	・薬の効能等の把握に努めたい(特に薬が変わったとき)
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・入浴のときなどに腹部をマッサージしてあげたりオムツ確認のときも介助したりする・遊学時間、体操を利用し工夫をしている・散歩や入浴、身体を動かす機会を適度に設けて自然排便できるよう取り組んでいる		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・口の中を他人に触られる利用者の気持ちに配慮しつつ一人ひとりの力に応じた歯磨きの手伝いをしている	○	・自分で口腔洗浄が出来る入居者には朝昼夕の歯磨きを徹底し声掛けするよう心がける

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し職員が情報を共有している	○	・好き嫌いや野菜等残される方に盛り合わせや調理の仕方を工夫していきたい
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・施設や用具の消毒を徹底的に行い、感染症に関する情報収集を早めに行っている。なお、入所者及び家族の同意を得てインフルエンザ予防接種を受けたり、玄関口にマスク着用(外からの感染をなるべく抑えるよう)の依頼を掲示するなどしている	○	・手洗いの徹底(おむつ交換後居室の入口に消毒液を用意し居室から出るときに必ず実行する)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・冷蔵庫内の整備、キッチン用具等の消毒に努めている	○	・冷蔵庫に長く品物をおかないようにする
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・明るい雰囲気のある玄関になるように花を活けたり玄関先にプランターを置いたりして季節感を演出している	○	・玄関には利用者の催し時の写真が貼られお花も飾られ片付けられている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・利用者の方に快適に過ごしていただくため、音など配慮し季節感など工夫している・五感刺激への配慮(色光陰広がり音におい味手触り空気の流れなど配慮する)		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ホールの長いす(ソファ)、テラスの長いす、中庭の長いす等色々工夫はなされている・フロアでマッサージされたり雑談されたり寛がれる	○	・ホールの空間を利用し絵画の飾りつけ、パズルの飾り、お花をテーブルに置ききれいにしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・強制はしていないので自分のお部屋は利用者の方々が使 いやすいよう自分で工夫され、ホール内も皆が使いやすい ようされている・廊下、トイレ等のバリアフリー手すり等設置して あり、仏壇、テレビ、冷蔵庫など入所者によっては持参され 居心地よく過ごされている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	・網戸等にして自然の風を入れるようにしている廊下の天窓 も役立っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	・廊下、浴室、トイレを基本に手すりは設置し入所者に使い やすいよう設計し、自立の為の手助けとして手すりを使い一 人で歩かれるようにしている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	・一人ひとりの力を活かして介助して差し上げ自立して暮ら せるように工夫している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	・中庭には花木が植えてあり利用者は花を摘んだりされる。 ベンチが置いてあるので日向ぼっこ等利用され車椅子の方 も中庭に出れるよう工夫されている	○	・利用者に付き添い一人にならないよう工夫している

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
		<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/> ③たまにある
		<input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開設して丸2年半を迎え、初めてのことが多々ある中で、試行錯誤しながら入居者の方々と悩み、悲しみ、笑い、楽しみ、色々な事を一緒に分かち学ぶ毎日です。これまでの生活の延長となるよう束縛の無い、自由で個々の人格が否定の無い日々の支援が出来るよう、職員一丸となって学びながら取り組んでいます。一昨年より去年、去年より今年、と少しずつ自分達なりの成長は遂げていると思っています。入居者の方々、並びにご家族が希望されるサービス内容を充実できるよう常に初心に戻り精進していきたいと思っています。